

平成23年度

まちづくり活動助成団体紹介

まちづくり基金によるまちづくり活動助成を行っている
まちづくり団体を紹介します。

平成23年度の「地域“魅力”アップ部門」では7団体、
「“はじめての一步”部門」では7団体に対して助成を決定しました。
今回は、そのうち「地域“魅力”アップ部門」の3団体、
「“はじめての一步”部門」の1団体についてご紹介します。

地域“魅力”アップ部門

コミュニケーション・スクエアネットワーク東海(CSネット東海)

平成14年に設立以来一貫して、市内全域で視覚障害者の社会参加を支援するための活動を展開しています。

今回のまちづくり活動助成では、「視覚障害者が一人で街を歩けるために、一般市民に手引き誘導できるスキルを修得させ、“人がやさしい街づくり”を展開する」という活動テーマで、講習会開催数を倍増し、広報活動にも力を入れていきます。また、1日の受講ではスキルに自信が無い人へのフォローアップとして、ボランティアと一緒に郊外や低山に出かけるウォーキング活動(月一回開催)に参加できる機会も作っていきます。



人がやさしい街づくり「手引き誘導法の講習会」

お問合せ先 | 立川 恭一 e-mail csnctk@cello.ocn.ne.jp

障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知

1998年に設立以来、障がいのある子どもをもつ親の会や団体、個人を繋げていくネットワークづくりを活動の柱としています。学習会やシンポジウムなどを開き、市内だけではなく、市外県外の会員も集まって活動しています。

今回のまちづくり活動助成では、「障がいのある若者とその家族・支援者への『愛と性の講座』」という活動テーマで、受講する方々の立場や年齢に合わせて、
①保護者・支援者向け、②障がいのある小学校高学年とその親向け、③障がいのある中高生向けの3つのパターンで開催します。



中高生向けの講座

お問合せ先 | 田中 弘美 e-mail dzf13562@nifty.com

紙芝居「みどり劇場」

この会は、平成21年度より始まった緑区社会福祉協議会地域福祉活動5カ年計画の実践のために発足しました。緑区にある公園資源を「顔の見える憩いの場」「文化教育の場」として公園活性化を図る活動をしています。

今回のまちづくり活動助成では、「公園紙芝居で“顔の見える町づくり”“支え合う町づくり”」という活動テーマで、①紙芝居実演活動の充実と拡大、②ワークショップ「紙芝居、見て!やって!支え合い」の開催、③第1回「みどり公園紙芝居まつり(11月5日)」の開催などを実施します。



ワークショップ



みどり公園紙芝居まつり

お問合せ先 | 浜本 寿明 e-mail binben01_09shou@na.commufa.jp

老人クラブ新千鳥会

平成23年4月、緑区片平学区の三町内合同の老人クラブから発足しました。当クラブの目的として、①地域活動、②教養の向上、③健康の増進、④レクリエーション等独自の行事を企画などがあります。

今回のまちづくり活動助成では、「町美推進の一貫として『花いっぱい運動』の展開」という活動テーマで、第1ステップとして、老人クラブの会員宅前へプランター(土入り)と花の種を配布し花を育ててもらい、第2ステップとして、緑区の市民まちづくり団体「花・水・緑の会」と情報交換をしながら、横のつながりも展開していきます。



花いっぱい運動出発式



お問合せ先 | 杉野 友昭 e-mail t_0313su@yahoo.co.jp